

授業名：「わがまち梓川探偵団」 ～学区の7つの謎を探せ～

学校名：松本市立梓川小学校
学年・人数：6 学年 2クラス 30人×2
日時：2020.10.16/11.5 9:00～12:00
講師：安曇野ふるさとづくり応援団
主な活動場所：梓川小学校学区

先生のねがい・ねらい

- ・子どもたちに地域を好きになってほしい。
- ・学校の担任も知らないことはたくさんあるので、担任も一緒に地域の魅力を知りたい。

事前の計画

5～6人の小班に分かれ、手持ち資料を使って歩きながら地域を探検する。神社や堰の分岐点、断層など、地域の特徴的な場所をチェックポイントとし、ウォークラリーをしながら地形、歴史、地域の文化などについて理解を深める。

準備するもの

団体：フリップ、コース等の資料

学校：地図の見方の確認、通学路を元に、回る地域を大まかに把握する。

コースのトイレの借用や挨拶等の地元調整、救急バッグ

当日の様子

- 【実施概要】 梓川発見ウォーキング
「謎」の隠されている位置や内容の分類を元にルートを考える
「謎」の近くまで行ったら写真を元に場所を特定し、「謎」の理由や成り立ちを考える。
講師の方々に補足説明をしていただく。

【実施状況】



ウォークラリーに使う地図とチェックポイント



講師の方々にアドバイスをいただきながら回るコースを決める。

たくさん回りたいから効率的なルートを優先して決める班もあれば、「水の謎」「暮らしの謎」などのように謎の分類を優先してルートを決める班も見られた



「下はお米で上はりんご？」河岸段丘の近くで、景色の違いを感じながら、地形を学んでいた。普段見慣れている景色が学びに変わっていった様子があった。



「水の謎～水路の近くに2つの井戸？」昔からある井戸の役割とは！？水が大切なものだった昔の人の思いや歴史にふれ、水の大切さを改めて感じていた。



「水の謎～崖の上にダムが2つ」ダムは水をためるだけでなく、砂や砂利によって田畑がられないように防ぐダムがあることを理解する。学校に近くにダムがあることに驚きを感じていた。



「文化の謎～道路近くに石の神様？」の探索。何気なくある石碑。実は、そこに深い意味や歴史が隠されていることを発見していた。



「文化の謎～神様はどこにいる？」普段から親しんでいる神社の名前の意味や拝殿の裏に本殿があることなど、受け継がれてきた日本の文化の一端に触れる

◎ 子ども達の感想

・いくつかの「なぞ」を解くためにその場所へ行き、観察しました。観察した後に説明もしてもらいました。わたしたちの班は暮らしの謎が一番気になっていたのので、そこに行く目的で回って行きました。意外と多く回れたので、よかったです。

- ・その場所の深い意味を知らなかったから知れてよかった。
- ・その場所やもので、そのころの人の考えや工夫、想いが分かったような気がした。

(授業実施1ヶ月後に…日記で)

木曜日の朝、いつも通り学校に登校していると、どこかで見たようなものを発見しました。それは、梓川ウォーキングのなぞスポットだったF地点に似たようなものです。毎日通っているのに気づけないことがあるんだなと思いました。これからも発見できたらいいなと思います。

◎ 先生方の振り返り

- ・外部講師との連携ができ、私自身にとっても学校での学習の幅を広げる新たな視点をもつことができました。子どもたちも普段とは違う学習ができ、生き生きと学びを深めることができました。
- ・今後も、そのような機会やつながりを進めていきたいと思います。
- ・外部の方に教えてもらい、子ども達にとっていつもと違う気持ちの引き締めを感じた。
- ・外部の方と自分たちだけで行動することや自分たちの話し合いでルートを決めることに取り組み、協力の大切さを一層感じとったように見受けられた。

◎ コーディネータから

- ・講師の皆さんには、たくさん準備をしていただきました。地域の歴史を調べ、歩き、特徴となるポイントを選んでいただきましたが、信州の地歴、郷土史に詳しい皆さんならではの視点がありました。
- ・この学習がゴールにするのではなく、より詳しく地域を知りたいというきっかけになるようにとの講師の思いから、謎の答えは気付きを促すような形の説明をされていました。
- ・学区とは言え、知らない場所もたくさんあったようで、子どもたちはとても楽しんでいました。
- ・ウォークラリー形式という方法が楽しみながら歩き、学ぶ方法としてとても良かったと思います。